

公表

事業所における自己評価総括表

(別紙3)

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日	～	2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日	～	2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門的支援体制が整っている。	保育士経験5年以上の職員がいるため、豊富な知識を活かし支援に取り入れることや、保護者への助言に繋がるように取り組んでいる。	今後も、専門知識を活かし、プログラムを考案していく。また、保護者支援にも力を入れていく。
2	・個別療育と集団療育のどちらも行き、楽しんで参加いただいている。	個別支援の他に、友だちと関わる時間も設けることで、どちらの要素も取り入れた支援内容の提供を行う事が出来ている。	今後も継続していきながら、支援内容をより充実したものにしていく。利用者様が皆楽しんで参加できる療育を提供していく。
3	・利用者様だけでなく、ご家族様や関係機関との連携が図れている。	随時面談は受け付けており、ご家族様と情報共有を密にとっている。また、学校や園、病院、相談支援事業所等への訪問を行い、連携をとっている。	今後も継続した連携を行い、ご家族様や関係機関との連携を深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方々との交流。	SNSやパンフレットを通して、地域の方々への周知を行うが、交流できるイベント等を開催したことがないため、交流する機会がない状況。	イベント内容を検討し、地域の皆さんにも参加しやすい内容や、興味を示していただける内容を検討し、周知していく。
2	・保護者同士、兄弟児との関わり。	保護者や兄弟児との関わりとして、ワークショップを開催し、参加いただいている。しかし、参加が少ない状況。	時間や内容を工夫して、参加しやすい環境を整えていく。
3	・施設の規模が狭い。	個別の活動では、パーテーションを使用しながら、狭すぎず広すぎない支援室を提供している。しかし、粗大運動等激しい活動をする際は、ホールが狭く難しい。	机や椅子の配置を工夫する。また、パーテーションでのしきりの間隔を狭める等の工夫を行うが、限界がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「クラ・ゼミ」郡山昭和校

利用児童数

42

回収数： 28

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	7	2	1	スペースが少し狭い気がします。	施設の構造上、難しい点もございますが、パーティション等で工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3	1	1	担当の先生が変わる事が多くて不安なことがある。	シフト制のため、色々な指導員が支援を担当させていただいております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	7	2	2	階段が急な為、子どもには危ない、不親切な作りである。階段が急なうえ掲示物もある為、子供が階段を降りる際に見ていて少し怖いです。	バリアフリーに関しては、不足な部分もある為、大家さんと相談を続けております。掲示物についても職員間で検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	2	0	1	冬の床の冷たさは気になります。子供も床で遊ぶことも多いと思うので。	施設の構造上、難しい点もございますが、マット等を使用し、工夫してまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	4	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	1	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	27	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	3	0	0	支援内の時間でエスカレーターの登り降りの練習は移動時間や場所も含めなかなか難しいかなと思う	グループ療育等で、戸外活動の機会を設け、社会生活に向けた活動も取り入れてまいります。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	4	0	1		
保護者への説明	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	9	8	3		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	1	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	7	4	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	3	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2	1	1		

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	7	6	コロナ、インフルが落ち着いたら交流を増やしてほしい	親子での参加のワークショップやママカフェ等を実施し、保護者様同士の交流の機会を設けております。きょうだい間での交流が持てるような時間を検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	5	1	2	SNSの更新はあまりされていないように感じます。集団療育の際はフィードバックがない分、SNSを通してどんな活動が行われたかが分かるといいなと思いました。	大変申し訳ございません。1週間に1回程度、SNSを更新し、利用者様の活動の様子を発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	4	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	0	1	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	1	6		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	1	0	学校生活に疲れているから。	通所が楽しみになるよう、支援を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	4	0	0		

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様と指導員1名が活動しやすい広さを提供させていただいております。運動を行う場合は支援室外の広い場所で行えるよう配慮しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切な人数で対応できるようにシフトも工夫しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーテーションを使用し、利用者様にとってわかりやすい環境を設定しております。バリアフリー化に関しては、不足な部分（急な階段等）もあるため、大家さんと相談を続けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃、消毒、換気を定期的に行うことで、心地よく過ごせる環境に配慮しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の支援室を使用して、過ごせる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で定期的に会議を行いながら、業務改善について話し合いを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、保護者様に事業所評価をお願いし、回答結果について内容や改善点を職員間で話し合いを行っております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援前後や、会議の場等で、職員同士話し合う場を設け改善に繋げております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	書式を伴うしっかりとしたものは行っておりませんが、監査等で評価していただいております。場合によっては、第三者の外部評価を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修、外部研修に定期的に参加することで、職員の技術の向上に繋げています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムが固定化しないように、個々の特性や、ニーズに応じて作成しております。また、支援プログラムの公表が義務化となり、都道府県に届出をしております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別支援計画の更新時期に保護者様との面談を通して、利用者様・保護者様のニーズを聞き取り、アセスメントを行うことで、個々に応じた支援計画の作成に努めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日頃の支援状況や保護者様からのご意見を参考にしながら、個々に必要な支援を把握し、職員全体で会議をして、計画の作成を行っております。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を会議にて全員で共有しております。また、計画に沿ったプログラムを実施しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント表を元に、日々の行動観察を行いながら、状況の確認しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って、ねらい及び支援内容を踏まえながら設定しております。その中で、利用者様・保護者様にとって必要なニーズに沿って、支援内容を組み立てていただいております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		前回の支援の様子を共有したり、次の支援内容を話し合ったり、相談しながらプログラムを立案しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないように、利用者様の様子に合わせて、職員間で話し合いながら立てております。また、個別・グループ療育、それぞれの内容を職員間で話し合いながら工夫しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様の状況に合わせて、個別活動・集団活動を組み合わせ計画書を作成しております。また、個別活動だけでなく、集団活動にも参加できるように、月1回のグループ療育も実施しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		入念に引き継ぎを行い、職員同士連携して切れ目のない支援を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りの内容や気づいた点を職員間で話し合い、次の支援に繋げております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後は記録を書き、次の支援の改善に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回、児発管がモニタリング面談を実施し、計画の見直しもさせていただいております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供の4つを含めた総合的な支援を、複数組み合わせ支援を実施しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者様の自己決定を尊重し、支援者本位の支援にならないように、利用者様・保護者様のニーズを取り入れて、自己選択できるように工夫しております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児発管が参加し、必要に応じて担当職員も参加しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		月に1回、地域の相談支援事業所等を訪問し、利用者様の様子を共有させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様のご希望があれば、通学している学校や事業所等と、情報共有や相互理解を図る為の訪問を行っております。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、サービス担当者会議に参加し、情報共有や相互理解を図っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービス事業所等へ移行した利用者様はまだおりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの研修を定期的に受けたり、意見交換をして、連携を図っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	事業所としての交流は現在ありません。今後、地域のお子さんに関わる機会があれば、設けていきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童発達支援管理責任者が主に参加させていただいています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		今後も保護者様のご協力を得ながら、支援終了後のフィードバックや家族支援（面談）等を行い、利用者様について共通理解を図ってまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレ研修受講完了の職員が対応させていただいております。保護者様等の参加できる研修があれば、都度提供させていただきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、詳しい内容について説明させていただいております。今後も、何かご不明点がございましたら、いつでもお聞きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		引き続きフィードバックの際にお話を伺ったり、定期的な面談にて保護者様や利用者様のご意向の確認を続けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容について、保護者様に安心していただけるよう丁寧な説明を心掛け、保護者様から同意を得ております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックや、必要に応じて面談の時間も設けながら、助言や支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ワークショップを通して、実際の支援を体験したり、保護者間での交流を目指しております。開催は少ないですが、ご家族、ご兄弟も参加できる機会を増やしていきたいと思っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いただいた内容について、職員間で迅速に対応、共有しています。体制の整備等も含めながら、再発防止に向けて努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		XやInstagram、LINE等のSNSを通して、情報をお伝えしております。今後も、利用者様の活動の様子や予定等をお伝えしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するものは、鍵付きのロッカーで保管し、厳重かつ丁寧に扱わせていただいております。個人情報漏洩等がないように職員内でも周知徹底しています。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚提示を活用しながら、意志疎通や情報伝達の配慮をしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所の活動について地域の皆様にパンフレットやSNSでお知らせさせていただいておりますが、招待する等はまだできておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定しております。また、月に1回、様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定と発生に備えた研修を定期的に行い、職員間での周知徹底をしています。また、ご利用者様との防災訓練も続けていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に、服薬や発作等の確認を行っております。配慮が必要なお子様に関しては、職員間で共有し、臨機応変に対応できるよう、努めています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に食物アレルギーの確認を行っております。おやつ提供の際は、事前確認の他に、提供するお菓子に含まれるアレルギーを表にまとめ、保護者様へ確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。今後も、安全管理を十分にしながら支援を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に安全確保についての説明をさせていただいております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際は、迅速に職員で共有し、再発防止に向けて話し合いを行っています。未然に防ぐことができるよう、職員一人ひとり徹底して意識してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を行い、職員同士での周知を進めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束についてのお知らせと、保護者様の同意を得ております。合わせて支援計画にも記載し、周知に努めています。また、やむを得ず行う場合には、安全確保を行った上で対応と、経緯説明をさせていただきます。